

## 令和5年度 イチオシ!の ICT 活用方法

教育委員会

## 習志野市教育委員会

## 1. 小学校の学習における活用方法（学校名：香澄小学校、谷津南小学校）

## 5年 書写

## ○学習内容の確認

- ・動画で本時の課題の書き方を大型提示装置で視聴させて、感想から本時のめあてを設定。
- ・児童も自席の自身の端末で繰り返し見て大切なポイントを確認。

## ○机上の工夫

- ・端末は折りたたんで机上で場所をとらないように工夫

## ○試し書き・清書

- ・各自端末に表示された文字を手本として見ながら書き、書いた文字は端末で撮影。



## ○比較・検討

- ・注意すべきポイントを大型提示装置にマーカーを引きながら全体で確認。
- ・手本の文字と撮影した自筆の文字を比較しながら、修正ポイントを確認。  
(文字の透明度を下げて、手本と自筆の2枚を端末上で重ねる工夫)

## ○本時のまとめ

- ・書いた文字は清書として撮影し先生の端末に送信。全体での共有場面や評価にできる。
- ※各自手本と比較することで児童は上達実感でき、自身の次の課題が明確になる

## 2. 中学校の学習における活用方法（学校名：第一中学校）

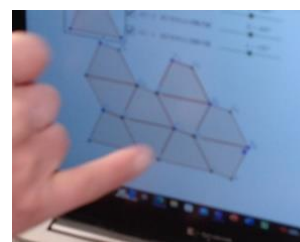
## 1年 数学科「四角形のしきつめ」

## ○意欲・関心を高める学習課題の設定

ブロックやタイルの写真を大型提示装置に提示し、きれいに重ねられた形状から「配列」に注目させ、正方形や正四角形以外の四角形でもきれいに配列できるかを予想させる。

## ○学習課題に対する検証

- ・アプリを使って、各自の端末で四角形を移動したり回転させたりしながら集中して課題に取り組みさせることができている。
- ・活動の結果を生徒の端末から紹介・発表させ、予想に対しての実証から思考を導き出すことができている。



## ○思考の比較・整理

- ・うまく並べられた生徒と並べられなかった生徒の例を端末で比較して提示し、並べるうえでの法則性を考えさせることができている。

## ○本時のまとめの工夫

- ・様々な発問で生徒から気づきが生まれるよう導くことができおり、生徒の言葉から四角形の内角の和360度だからしきつめができるといった法則性に気付かせることができている。
- ※学習課題に対して自分の考えで予想させ、タブレット端末を使って予想を検証・実証させて数学の法則性に気付かせる深い学びにつながった授業